# ALevel

A Level エラベル

2025

関東版

関東1都8県の優良企業情報誌［エラベル］

東京商工リサーチが厳選した

## 全国で上位8%の

# 優良企業

優良企業ガイド238社掲載・経営者インタビュー178社掲載

TSR
TOKYO SHOKO RESEARCH

東京商工リサーチが調査した
企業上位8%を掲載

# ALevelの優良企業

地元の優良企業のメリットとは

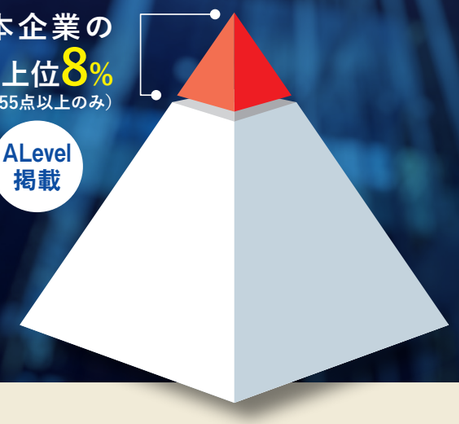
## TSR評点とは?

「評点」とは、対象企業を「経営者能力」、「成長性」、「安定性」、「公開性・総合世評」の4つの視点で紹介するTSR独自の評価指標です。

- 経営者能力（20点）
- 企業成長性（25点）
- 企業安定性（45点）
- 公開性・総合世評（10点）

日本企業の上位8%（評点55点以上のみ）

ALevel掲載



## ALevelの優良企業 01 中小企業の魅力とは?

中小企業ならではの魅力が沢山あり、大企業にはないメリットがあります。

### 自分の働きが会社の成長に直結する

自分の仕事が何の役に立っているのか大組織では見失いがちですが、自分の働きと結果を間近で感じられるのが中小企業の良い所です。成果を出して会社を牽引していく楽しさを実感出来ます。

### 業界で生き残る自信と能力がいち早く身につく

これからの時代を生き抜くには着実にスキルアップしていく必要があります。中小企業では若いうちから重要案件を手掛けるチャンスが多く、業務経験を重ねて業界で生き残る自信と能力が、いち早く身に付きます。

### 会社によっては転勤がない

地域に根ざしていることから、本社や工場のあるエリアに集中して事業を行っていることがよくあります。特に子どものいる家庭の場合、転校や単身赴任の心配がなく、家族と同居しやすいといったメリットも生まれます。

### 経営者との距離が近い

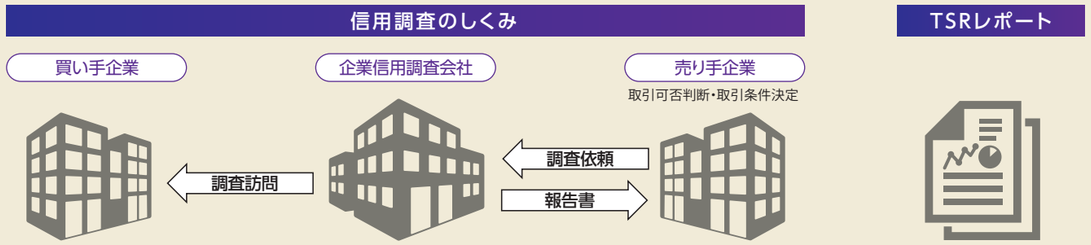
能力の高さやリーダーシップ、実績が認められやすく、スピード感があることも中小企業の特徴です。大企業や競合の他社より早くPDCAサイクルを回せたり、顧客の声をスムーズに反映できるというメリットがあります。

## ALevelの優良企業 02 東京商工リサーチとは?

私たち東京商工リサーチ（TSR）は、「企業信用調査のプロフェッショナル」です。1892（明治25）年創業の日本最古の信用調査会社で、2022年に130年目を迎えた企業です。1974年に企業情報データベースサービスを、1999年にはインターネット企業情報サービスを開始。絶えず革新に努めて、時代のニーズに応えています。
現在全国で81カ所の事業所を構え、1,979名の従業員がいます。信用調査などを通じて収集した全国の企業データは441万社に及び、日々蓄積を続けています。
取り扱うのは、国内の企業データだけではありません。世界最大の企業データを保有するアメリカの信用調査会社Dun & Bradstreet（D&B）と国内独占販売権を締結しているため、TSRが持つ国内屈指の企業データとD&Bが持つ企業データを、ワンストップで提供できる体制を確立。全世界240カ国超、約5億件の企業情報を提供し、国際取引を支援する情報提供にも貢献しています。

## ALevelの優良企業 03 企業信用調査とは?

消費者は、コンビニやスーパーなどで商品を買うとき、クレジットカード決済を除き商品と引き換えに代金を支払います。しかし、企業と企業の間での取引は異なります。企業の取引には、同じ会社と何度も継続的に取引をするという特徴があるので、取引のたび支払いを行えば、売る方も買う方も手間がかかります。そこで、商品を先に納め支払いは1カ月後などルールを決めまとめて払うようにするのが一般的です。アルバイト代もその日払いではなく、1カ月分を銀行振込という人が多いと思いますが、それと同じです。
商品が先で支払いが後という取引では、売り手は無事に売上代金を回収できるかどうか、というリスクが存在し、このため安心して取引できる相手なのかを「知りたい」というニーズが発生します。これに答えるのが私たちTSRの行っている「企業信用調査」です。




## ALevelの優良企業 04 エラベルとは?

「Aレベルの会社を“選べる”」というコンセプトで、地域と人と企業のトライアングルを結ぶ地域密着の優良企業紹介誌です。信用調査会社である東京商工リサーチならではの目線で選んだ地元の優良企業にスポットを当てて、各企業のPRや就職活動のサポートを行うことを目的としています。

# 株式会社 テクノスタット工業

テクノスタットコウギョウ

## 専門メーカーとして 多品種及び品質向上を実現

弊社は2000年の創業以来、帯電防止袋・帯電防止フィルムの専門メーカーとして躍進。多くの電子部品メーカーが製造する電子部品の品質維持に貢献してきました。帯電防止とは、静電気を速やかに拡散して逃すことにより、袋やフィルムの帯電を防ぐこと。一般的なポリエチレンの袋は、擦ったりすると容易に静電気が発生してしまいます。電子部品メーカーでは、電子部品の基盤などを袋に入れて次の工程に回したり配送したりします。その際に袋が帯電すると壊れてしまうのです。帯電防止は、電子部品の品質維持に欠かせないものと言えます。

帯電防止袋・帯電防止フィルムは、包装メーカーが付加価値商品として手掛けるのが通常よくあるケース。私たちは、業界でも珍しい専門メーカーとしてお客様の課題を詳細にお聞きして商品に反映させてきました。そうした姿勢が豊富なバリエーションと高品質化を実現し、多くのお客様に信頼をいただいています。とくにSTAT-3S（スタット・スリーエス）は、静電気を逃すための湿度依存が少ないので、安定した帯電防止を持続的に発揮。海外にも輸出されるほどの人気を誇っています。

## 環境対応の新商品も企画 さらなる飛躍のチャンス

近年では帯電防止袋・帯電防止フィルムを土台に多角化への道を歩み始めています。とくに注力しているのは、バイオマスプラスチック、生分解性プラスチックなど環境問題に貢献するする製品。バイオマスプラスチックは、植物など再生可能な有機資源を原料として使用することにより、地球温暖化の一因ともされる石油に頼らず、持続的につくることができる新しいプラスチック素材です。弊社独自の配合により、CO2削減に貢献する環境対応型でフィルム強度の強いファッションバッグを開発。バスケットボールBリーグの宇都宮ブレックスの試合会場で使われています。

生分解性では、土に還る「日本バイオプラスチック協会」に認定された植物由来の再生可能資源フィルムを開発。この技術をもとに、様々な商品への応用を企画しているところです。見据えているのは分野の一つが農業。土に張る農業用マルチシートに生分解性のものを使用し、自然と土に還る商品が脚光を浴びていますが、あのような商品の新たな付加価値商品を模索しています。また、生分解性は土で分解されるものと水で分解されるものがありますが、新たに紫外線によって分解されるものが開発されています。これを活用したフィルムの分解試験をすでに行っており、商品化も現実のものとなっています。

## 新たな商品を企画する 醍醐味も味わえる

私が入社したのは創業の翌年の2001年です。当時は社員が3名。私は4人目の社員として営業から製造までなんでもやりました。父である創業社長は研究開発の人で、自ら開発した帯電防止フィルムを世に送り出すために会社を設立したのです。私たちは、その思いに応えるために奔走しました。潮目が変わったのは東京営業所を開設したこと。ここを拠点に販路の拡大に成功し、成長軌道に乗せることができました。

私が社長に就任した2006年頃から主力の帯電防止袋・帯電防止フィルムをベースに多角化路線に踏み切ったのは先ほど申し上げた通りです。今後は環境対応、SDGs、地域貢献をテーマに新たな商品開発にチャレンジしていきます。これまでにない商品をゼロから企画して社会に送り出す。そんな醍醐味を味わうチャンスも弊社にはあります。一緒に、新しいテクノスタット工業をつくってくれる人材を広く求めています。

▲ 社員同士が助け合い、やりがいのある仕事に集中する。

Message from President 経営者インタビュー

本社所在地 栃木 製造

# 環境を見つめる帯電防止の専門メーカー

代表取締役社長

## 中沢 文伸

なかざわ　ふみのぶ

1972年12月生まれ。東京で営業、製造業、飲食業など様々な仕事を経験。2000年の12月に実父が同社を立ち上げ誘われる形で翌年に入社。営業や製造など多様な業務を担当した後、2006年に代表取締役社長に就任。環境対応、SDGsをテーマに新たな商品企画にも注力する。

▼ 企業公式サイト

| | |
|---|---|
| 所在地 | 〒325-0025 栃木県那須塩原市下厚崎5-381 |
| TEL | 0287-60-5311 |
| 設立 | 2000（平成12）年12月 |
| 従業員数 | 33名 |
| 売上高 | 8億円［2022（令和4）年8月期］ |
| 事業内容 | 機能性包装用プラスチックフィルムの製造販売、東南アジアへの当社製品原料の製造と販売及び技術支援 |
| URL | https://www.technostat.co.jp/index.html |